

第 11 回（2013 年度）土壤物理学会（論文賞）選考結果

土壤物理学会 学会賞選考委員会
委員長 波多野 隆介

学会賞選考委員会として下記の論文を論文賞としてふさわしいと決定しました。

1. 冠 秀昭 (独) 農研機構 東北農業研究センター)
関矢 博幸 (独) 農研機構 東北農業研究センター)
遊佐 隆洋 (宮城県古川農業試験場)
大谷 隆二 (独) 農研機構 東北農業研究センター)

2. 対象論文

電磁探査法による津波浸水農地の土壤電気伝導度迅速調査法
土壤の物理性, 第 121 号, pp. 19–28, 2012

3. 推薦理由

本研究は、多周波数電磁探査法（GEM-2, Geophex 社）を津波浸水農地に適用し、簡易且つ迅速な土壤電気伝導度測定法を確立しようとしたものである。

まず、KCl の散布により塩分濃度を調整した疑似海水浸水圃場において、GEM-2 による EC_a 測定値が、土壤 EC センサーと同様の傾向を示すことを確認した。GEM-2 による EC_a の等高線図を、Google Earth 等の地図上に重ね合わせることで、広範囲な津波浸水のうちの特徴を容易に把握できることを示した。土壤 EC センサーを併用することで、定量的に、迅速性を損なわずに除塩に対応することが可能であることを示した。

このように、本研究は除塩に必要な EC 情報を広範囲に迅速に得ることが出来る簡易測定を開発したものであり、東日本大震災からの復興に向けての取り組みに大きく貢献するものと期待される。

以上の理由から、対象論文は第 11 回土壤物理学会賞（論文賞）に値するものと認め、ここに推薦する次第である。

本結果は 2013 年 10 月 25 日に開催された評議員会ならびに 26 日に開催された総会にて全会一致で承認され、総会後に授賞式が開催されました。

第 11 回（2013 年度）土壤物理学会（論文賞）選考結果

土壤物理学会 学会賞選考委員会
委員長 波多野 隆介

学会賞選考委員会として下記の論文を論文賞としてふさわしいと決定しました。

1. 西脇 淳子 (茨木大学農学部)
宮崎 毅 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
溝口 勝 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

2. 対象論文

NAPL 吸収多孔体径が Partitioning Interwell Tracer Test (PITT) に与える影響
土壤の物理性, 第 123 号, pp. 73–79, 2012

3. 推薦理由

本研究は、ガソリン、油、および有機溶剤などの難水溶性溶液（NAPL）を吸収させたサイズの異なる多孔体を模擬汚染源として、Partitioning Interwell Tracer Test (PITT) モデル実験（NAPL を分配せずに水相のみを移動するトレーサー（非分配トレーサー）と NAPL に分配しながら移動するトレーサー（分配トレーサー）の混合水溶液を同時に流し込み、両トレーサーの到達時間差から NAPL 量を推定する）を行い、トレーサーの破過曲線のテーリング形状を解析することで NAPL の偏在状況が推定できることを示したものである。NAPL の存在領域の大きさは推定精度に影響しないことも示されており、将来的には実規模での応用につながる成果と期待される。

以上の理由から、対象論文は第 11 回土壤物理学会賞（論文賞）に値するものと認め、ここに推薦する次第である。

本結果は 2013 年 10 月 25 日に開催された評議員会ならびに 26 日に開催された総会にて全会一致で承認され、総会後に授賞式が開催されました。

第 11 回（2013 年度）土壤物理学会（ポスター賞）受賞者

土壤物理学会 学会賞選考委員会
委員長 波多野 隆介

開催日：2013 年 10 月 26 日

会 場：2013 年度土壤物理学会大会ポスターセッション会場
(福島市：福島大学キャンパス S 棟 1F)

ポスターセッション参加者の投票に基づいた選考により、下記の 5 氏が受賞されました。
おめでとうございます。

竹内 萌実（三重大学大学院生物資源学研究科）
湛水土壤表面近傍の Eh と DO の空間分布

三木 真隆（三重大学大学院生物資源学研究科）
窒素・炭素循環連結モデルによる土中の有機物分解の検討

長田友里恵（三重大学大学院生物資源学研究科）
凍結・融解過程における黒ボク土の不凍水量曲線

名倉 理紗（明治大学大学院農学研究科）
微小重力下における土壤粒子モデル間隙中の水分移動

上村 将彰（佐賀大学大学院農学研究科）
TDT による重粘土水田の含水比・間隙比のモニタリング

「土壌物理学学会学会賞規定 2」の改正について

土壌物理学学会事務局

2013年10月26日に開催された土壌物理学学会総会において、「土壌物理学学会学会賞規定 2」の改正が下記の通り決定されました。本改正は一般会員からの推薦の位置づけを審査手順と合わせて見直したものです。本改正は2013年10月26日以降に適用いたします。

会員各位におかれましては、ご承知おき頂きますようお願い申し上げます。

新旧対応（改正日：2013年10月26日）

現 行	改正後（2013年10月26日以降）
<p>2. 論文賞の選考</p> <p>論文賞は、年1回、以下の手順により論文賞選考委員会「以下、選考委員会」で審査し、評議員会で決定する。</p> <p>(1) 賞の対象とする論文は、「土壌の物理性」に、原則として前年度（前年4月1日から翌年の3月31日まで）に掲載された原著「論文」とする。</p> <p>(2) 審査対象とする論文は、以下のいずれかとする：</p> <p>1) 選考委員が(1)に該当する論文の中から第1次審査として選考したもの、</p> <p>2) (1)に該当する論文の中から正会員1名以上により推薦（自薦もしくは他薦）されたもの。</p> <p>(3) (2)－2)に記す論文の推薦は、学会誌「土壌の物理性」に公示された募集を受け、所定の書類を必要部数揃え、期日までに学会事務局に提出しなければならない。</p> <p>(4) 選考委員会では、(2)に該当する論文の中から、第2次審査として受賞候補論文（以下、候補論文）を審査・選考し、評議員会へ付議する。</p> <p>(5) 評議員会では、候補論文が受賞に適格かどうかを判定する。</p>	<p>2. 論文賞の選考</p> <p>論文賞は、年1回、以下の手順により論文賞選考委員会「以下、選考委員会」で審査し、評議員会で決定する。</p> <p>(1) 賞の対象とする論文は、「土壌の物理性」に、原則として前年度（前年4月1日から翌年の3月31日まで）に掲載された原著「論文」とする。</p> <p>(2) <u>正会員（1名以上）は、学会賞受賞候補として(1)に該当する論文を自薦もしくは他薦することができる。</u></p> <p>(3) <u>(2)に記す論文の推薦は、学会誌「土壌の物理性」に公示された募集を受け、所定の書類を必要部数揃え、期日までに学会事務局に提出しなければならない。</u></p> <p>(4) 選考委員会は、<u>(1)に該当する論文の中から、(2)の推薦も考慮して</u>受賞候補論文（以下、候補論文）を審査・選考し、評議員会へ付議する。</p> <p>(5) 評議員会では、候補論文が受賞に適格かどうかを判定する。</p>

「土壌の物理性」の電子ジャーナル化の検討について

土壌物理学会事務局

昨今のインターネットの普及に伴って、国内外の著名な雑誌は電子ジャーナルに移行しつつあります。電子ジャーナル化することにより、インターネット上での検索にヒットしやすくなること、動画やデータなどの追加情報を論文につけられること、印刷経費や送料を大幅に節約できること、本棚のスペースに余裕ができることなどのメリットがあります。その一方で従来のページをめくる楽しみが失われるデメリットもあります。しかしながら、学会費だけで運営されている当学会の財政状態を分析するとその大部分を印刷経費が占めているのが現状です。今後、会員増による大幅な会費収入が見込めない限り、学会運営そのものが破綻をきたす恐れもあります。こうした背景を考慮して、10月25日の評議員会および26日の総会では「土壌の物理性の電子ジャーナル化」について会員諸氏から意見を聴取し、その意見に基づいて電子ジャーナル化の可能性を検討することになりました。従来通り冊子体を希望する場合には、オプションとして印刷サービスを導入することなども考えられます。

会員諸氏におかれましては本学会の現状をご理解の上、「土壌の物理性」の電子ジャーナル化に関するご意見をお寄せくださいますようお願い致します。

宛先： 土壌物理学会編集委員会 編集委員長 取出伸夫 宛
方法： （電子メール）E-mail: kibyosi@ml.affrc.go.jp
（Web 問い合わせ）<https://js-soilphysics.com/contacts>

締切： 2014年3月31日

土壌物理学学会ホームページの活用について

土壌物理学学会事務局

土壌の物理性 124 号でもお知らせしましたように 2013 年 5 月に土壌物理学学会のホームページがリニューアルオープンしました。新しいホームページでは、学会事務局からの NEWS や論文ダウンロードのサービスを利用できます。また、時代の潮流に合わせて、動画や生データの共有サイトなどのサービスも検討中です。現在は会員・非会員にかかわらず等しく学会サービスを利用できますが、近いうちに会員と非会員でサービスの質を変える予定です。会員サービスを最大限に利用するためにはホームページにログインすることが必要になります。学会員の皆様におかれましては学会誌が送付される際の宛名の下に印刷された「会員番号」を大切に保管の上、できるだけ速やかにログインできることをご確認くださいませようお願い致します。

なお、会員番号を忘れた場合でも学会のホームページにアクセスし E-mail アドレスを入力すれば自分の会員番号を確認できますが、学会会員名簿に登録されている E-mail アドレスが正しくない場合には再通知されません。その場合にはホームページ右上の「お問い合わせ」からその旨お知らせください。



<http://js-soilphysics.com/>